

団体運営、ここがポイント

NPO活動では、課題の解決や基盤づくりのために活動を継続していくことが大切です。活動をスタートしたら、継続できる体制を整えましょう。継続できる体制とは、しっかりとした団体運営が計画的に行われている状態です。

- スタート直後は、立ち上げを目指してみんなが頑張っていたけれど、時間が経つにつれ、それぞれ目指すものが一致しなくなってしまった・・・
- 立ち上げメンバーと新しいメンバーで意識のズレが生じている・・・
- 活動すること自体が目的になってしまって、何のために活動をしているのか不明確・・・
- 活動に追われ、会計や報告などの作業が後回しになってしまって・・・

皆さんは、思いあたることはありませんか？

1. ミッションを確認する

「私たちはどんな世の中を目指して、どんな活動を展開して行くのか」NPOにとってミッションは根幹です。事業計画を立てる、事業を実行する、その際にもミッションに照らし合わせ、それに基づいて実施されたか、その成果はどうだったのかを確認する必要があります。

しかし、時代と共に社会情勢やニーズは変わってきます。時にはミッションの見直しが必要です。原点に立ち返り、実現したい社会は？ ニーズは？ 予想される未来は？ そのために必要な活動は？ 自分たちに問いかけてみましょう。それと共に活動計画の見直しも必要になってきます。

長い年月活動を続けていると、活動そのものが目的になってしまって、ミッションを見失ってしまうこともあるかと思えます。また、メンバーが交代してもミッションがきちんと受け継がれていく必要があります。ミッションは紙に書いて、できたらみんなが見える壁に張っておきましょう。それが無理なら、運営会議や打合せなどの時、最初にみんなで声に出して言いましょう。

団体によっては、定例的にミッションや事業計画の確認を行っているところもあります。

2. 事務局機能を整える

団体を運営するには、事務局機能の充実が大切です。事務局の活動は、大きくは団体内部の活動と、外に繋がる活動に分かれます。内部の活動は、団体が活動を維持するために必要な活動です。ミッションの作成、会則、活動計画、活動報告、会計、データ管理、会議運営などがあります。外とつながる活動は、団体がミッションを果たすために行う活動やイベント、そしてその活動も含め団体自体を広く知らせる役割をもつ広報活動、寄付などを集めるために行うファンドレイジングなどがあります。

具体的な事務局の活動

- 事業＝受託事業、自主事業やイベントの実務、進行管理、活動報告
- 広報＝広報紙、ホームページ、ブログ、メールマガジン、SNS等
- データ管理＝会員情報管理、各種情報管理、ファイリング等
- 会議、総会＝開催、会場手配、準備、資料作成、スケジュール管理、会議運営、議事録作成等
- メンバー＝団体内のコミュニケーション、意志の共有、人材育成

- 会計＝経理事務、予算、決算、会費や寄付等の金銭管理
- ファンドレイジング＝資金調達

3. 会議の進め方

NPOは基本的に、複数の人間で構成された組織です。ミッションを決める、事業計画を決める、事業を決めるなど、会員で集まって会議をすることは必要不可欠です。しかし、報告だけ、決まった人ばかりが話す、時間ばかりかかって結論が出ないなど、なかなかうまく話し合いが進められていないのではないのでしょうか。

よい会議のコツ

- 事前に資料を配布し、参加者に目を通してから参加してもらいましょう。
- 時間配分を考え、みんなが見えるように書いておきましょう。
- 決められた時間に始め、決められた時間に終わりをしましょう。
- 議長と進行係は分けましょう（代表が一人で両方をしない）。
- 書記は、板書係（議論の可視化をする人）と議事録係（記録をする人）に分けましょう。
- 会議の最初に、承認・称賛のメッセージで暖かい雰囲気を作りだしましょう。
- 議事の順番は、①重要で緊急なこと、②重要で緊急でないこと、③重要ではないが緊急なこと、④重要でも緊急でもないこと、の順番に話し合いましょう。
- アイディアを出したいときには、ふせん紙などを使い、1枚に1項目ずつ書いてもらい、みんなを出し合ってみましょう。
- 意見が混乱してきたら、模造紙やホワイトボードに書き（メモを張り）、客観的に見て整理をしましょう。この時にカテゴリーに分けるなど、表にするとわかりやすいです。
- 最後に、この会議がよかったかどうか、感想タイムを設けましょう。

誰もが活発に意見を出すことができ、きちんと結論を導きだし、時間どおりに終わる理想的な会議までの道のりは遠いかもしれませんが、この中のどれか一つでも実践し、工夫してみてください。

また、何かを決める会議でないなら、**ワールドカフェ**のようにみんなでくつろいで自由に話すというのも効果的です。こうした場をもつことは、フラットな位置で新旧の会員が交流でき、意識の共有を図る場になり、会員のモチベーションアップにもつながります。

ワールドカフェ

カフェで話すように自由で、リラックスした雰囲気です話し合いをし、気付きや参加者の共通項を導き出す手法です。4～5人単位の少人数のグループで、メンバーの組み合わせとテーマを変えながら、話し合いをくり返します。

相手の意見を聞き、つながりを意識しながら自分の意見を伝えることにより場の一体感が生まれ、参加者全員で話し合ったような効果があります。